

セリーヌ
 SNACK
 エトランゼ
 シャトー
 SNACK
 アミー
 サタモカ
 13
 雲のうた
 ミカド
 Club
 ラグーン

おいしい環境
召し上がれ。



小倉南区

『ビューシティ楡の木坂』

ビューシティ楡の木坂の街並※一部販売済住戸も含まれております。

建築条件付
宅地好評分譲中



《事業主》
国土交通大臣 (1) 第 7851 号
JFE エンジニアリング 株式会社
〒800-0210 福岡県北九州市小倉南区吉田にれの木坂 2 丁目 1-38
TEL.093-471-2121 FAX.093-471-2181

お問い合わせ
楡の木坂販売センターへ
受付時間/9:00~17:30
定休日/年中無休
0120-020-963
※販売状況は変更される場合がございます。※各メーカーの定額引当金により、ご希望のモデル/オプションがご用意できない場合がございます。予めご了承ください。

にれの木坂 検索 で検索してください。
http://www.viewcity.jp



目次
雲のうえ13号

2
特集

夜のまち。

写真=齋藤圭吾 題字=牧野伊三夫

小倉 (鍛冶町・紺屋町・堺町・新旦過街)

峠を越えた人生にふと訪れる至福。
文=赤井夜樹

鉄板焼 沢 / クラブ 美松 / JAZZ STREET52
天然果汁屋 ドロップ缶 / サウナ小倉 / おもてなし 北川
ナイトイン スカイロード / ピーマン 307 / カクテルバー しろ

門司 (栄町)

栄華の記憶を更新する洗い人々。
文=赤井夜樹

居酒屋 たる / 飲み処 あんかー / カクテルスナック 箱

若松 (本町)

ゾロメウた かさこみめし。
文=牧野伊三夫

居酒屋 瓢 / おでん 居酒屋 かんちゃん / 家庭料理の店 おつかれさま

折尾 (北鷹見町)

小路の夜は、まるで夢のなか。
文=つるやもこ

炉端焼 せつ / 美鈴 / 二鶴寿し

25

飲まない日も、飲めない人も。
夜のおやつ。

写真=齋藤圭吾、文=つるやもこ

38

迷路酩酊 18軒、ここにも見つけた憩いの4軒。

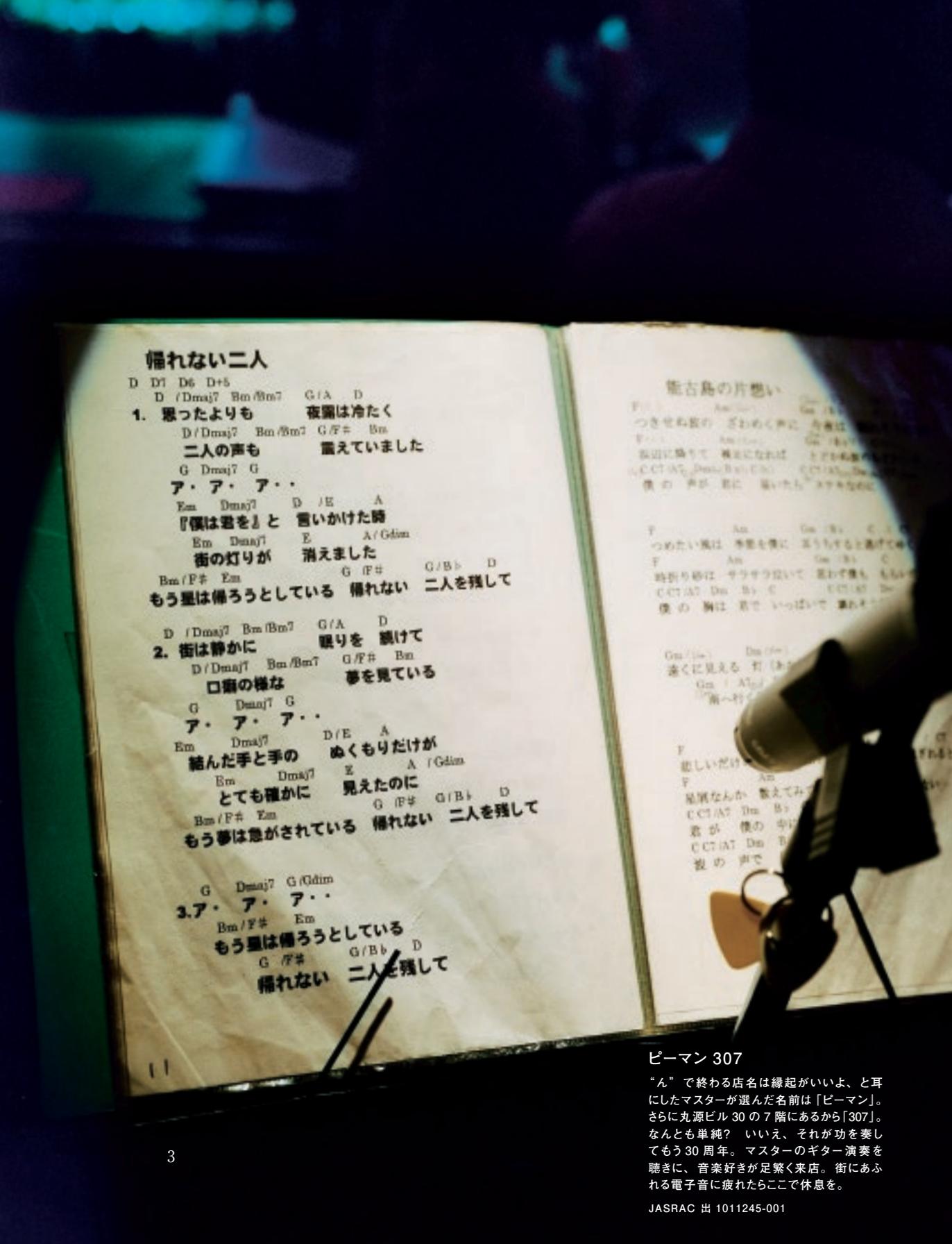
そこに扉があるから、開いてみる。

写真=齋藤圭吾、編集委員、文=つるやもこ、絵=牧野伊三夫

「雲のうえ」13号
2010年9月25日発行
題字=牧野伊三夫 表紙の写真=齋藤圭吾
アートディレクション=有山達也
デザイン=岩瀬恵子
編集=つるやもこ、大谷道子 校正=齋藤 晋
©北九州市 2010
本誌記事・写真・イラストレーションの無断転載を禁じます。

ナイトイン スカイロード

カウンターに並ぶ真っ赤なビロードの椅子に、白いワイシャツ姿の背中が整列。その向こうには、屈託のない天使の笑顔が。夜の店には薄暗い照明がつきもの。しかしここはまるでリビングを思わせるような顕然たる明るさ。夜にあって青空のスカイロードは、まっすぐに続く。



唄れない二人

D D7 D6 D+5
D /Dmaj7 Bm /Bm7 G/A D

1. 思ったよりも 夜間は冷たく
D /Dmaj7 Bm /Bm7 G/F# Bm
二人の声も 震えていました
G Dmaj7 G
ア・ア・ア・・・
Em Dmaj7 D /E A
『僕は君を』と 言いかけた時
Em Dmaj7 E A /Gdim
街の灯りが 消えました
Bm /F# Em G /F# G /Bb D
もう星は備ろうとしている 唄れない 二人を残して

D /Dmaj7 Bm /Bm7 G/A D
2. 街は静かに 眼りを 換けて
D /Dmaj7 Bm /Bm7 G /F# Bm
口癖の様な 夢を見ている
G Dmaj7 G
ア・ア・ア・・・
Em Dmaj7 D /E A
結んだ手と手の めくもりだけが
Em Dmaj7 E A /Gdim
とても確かに 見えたのに
Bm /F# Em G /F# G /Bb D
もう夢は急がされている 唄れない 二人を残して

G Dmaj7 G /Gdim
3. ア・ア・ア・・・
Bm /F# Em
もう星は備ろうとしている
G /F# G /Bb D
唄れない 二人を残して

能古島の片想い

F /C Am /C Gm /Bb C /F
つきせぬ夜の さわめく声に 今宵は
F /C Am /C Gm /Bb C /F
寂びに酔って 確信になれば 今宵の夢も
心 /C /F /C Gm /Bb C /F /C /F /C Gm /Bb C /F
僕の 声が 君に 届いたら 夢かなんか

F /C Am /C Gm /Bb C /F
つめたい風は 季節を僕に 送らねえと 言わねえ
F /C Am /C Gm /Bb C /F
時折り砂は サラサラと 落ちて 君の 夢も 夢も
C /C /F /C Gm /Bb C /F /C /F /C Gm /Bb C /F
僕の 胸は 君で いっぱいで 震らねえ

Gm /Bb Dm /F#
遠くに見える 灯 (あかり)
Gm /Bb Dm /F#
「前へ行く」

F /C Am /C Gm /Bb C /F
悲しいだけ
F /C Am /C Gm /Bb C /F
星屑なんか 数えてみる
C /C /F /C Gm /Bb C /F /C /F /C Gm /Bb C /F
君が 僕の 夢に
C /C /F /C Gm /Bb C /F /C /F /C Gm /Bb C /F
夜の 声で

ピーマン 307

“ん”で終わる店名は縁起がいいよ、と耳にしたマスターが選んだ名前は「ピーマン」。さらに丸源ビル30の7階にあるから「307」。なんと単純? いいえ、それが功を奏してもう30周年。マスターのギター演奏を聴きに、音楽好きが足繁く来店。街にあふれる電子音に疲れたらここで休息を。

JASRAC 出 1011245-001

特集

夜のまち。



太陽が海の向こうに沈んでも、
まだまだ眠らない。
煙突の天辺に月が届くころ、
いよいよ、歌いだす。
夜のまちとは、
今日一日、懸命に汗をかいた人が
集い、酒を酌み交わすところ。
笑いと涙と、その数だけ明かりが灯る場所。
そこは北九州の迷路の入り口。
さあ、まずは一軒、押すか引くか?
まちの扉は、夜開く。

写真：齋藤圭吾 文：赤井茂樹 題字：牧野伊三天



カクテルバー しろ

白ではなく、城。小倉城のお膝元、魚町の
新旦過街の重鎮、ここにあり。フルーツを
使ったカクテルが得意なマスターと、床漬け
が自慢のマダム。二人の共作が並ぶとこの
ように（P.4写真はソルティ・ドッグ）。一
見不釣り合いな組み合わせですが、ありが
たいなあと思わせてくれるおいしさ。



峠を越えた人生に
ふと訪れる至福。
小倉

（鍛冶町・紺屋町・堺町・新旦過街）

写真=齋藤主吾 文=赤井茂樹



クラブ 美松

夜の熱気と共に漂うのは甘い香り。香りに誘われて扉を開ければ、屋上庭園に臨むサロンが。ピアノの生演奏に混ざり、ときおり響く男女の楽しげな笑い声。名だたる企業が集まる市にあって屈指の夜の社交場は、ときに働く男の戦場であり、ふと肩の力を抜く休息の場でもあるに違いない。



おもてなし 北川

街の喧噪を抜けて辿り着く。暖簾をくぐると清潔な白木のカウンターが出迎えてくれる。熊本から届いた馬刺し(2,500円)、山口のウニ、若松のトマトなど、品書きの行間に主人のこだわりを垣間見る。親しい人と、あるいは親しくなりたい人と、静かに会いたいと思わせる珠玉の一軒。

北九州市と聞いて思い出すのは、市の西端を画して流れる遠賀川と直方市にある大正炭鉱。今から35年ほど前、学生時代に、詩人・谷川雁を介してこの言葉に出会った。60年安保から遅れること15年、後継世代の不埒な学生が捏造した血湧き肉躍る正義と闘争と敗北の偽記憶。以来、今年7月までご縁がなかったのである。

初めての北九州市は雨だった。空港のモノトーンのコングリートと鉄、滑走路の灰白色、それを取り囲む広大な砂地の淡い茶褐色、遠くの丘陵には夏を盛りんに緑が目にも美しいが、群生するというのではなく、斜面におとなしく張りついている慎ましさだ。眼前の景色はまるで1970年代アメリカのニューカラー（と呼ばれた一群の写真家たち）の作品を見るようだ。ウィリアム・エグレストンではなくジョエル・マイヤーウィッツ『CAPELIGHT』の気分である。

私は東京の下町、三ノ輪に住んでいる。『あしたのジョー』で丹下段平がジムを構えた泪橋にも遠くない。よく酒を飲み歩いているからか『雲のうえ』編集委員諸氏に声をかけられ、北九州市の「夜のまち」探訪にお邪魔することになった。光栄である。小倉北区に集中するこの街最大の繁華街に足を踏み入れる。祇園祭を週末に控えているながら、小倉の夜は騒々しくなかった。

ときおり太鼓の音が耳に届く。うら寂しいわけではない。風致地区の人工的な懐古趣味や演出ともほど遠く感じた。新奇さを競い合うでもなく、全く普段着の夜の街だ。私は東北の小さな県庁所在地の外れ、こ

ごんまりした神社に隣接する家に数年暮らしたから、寺社界限に集中する飲み屋街の雰囲気には慣れている。もう40、50年前のこととして、粗末なトタン葺きの長屋に飲み屋が軒を並べていた。間口は狭く隣の店の喧嘩は筒抜けで、排水口からどぶに無造作に流れ出す酒のにおいがときに周囲に淡く漂った。夜の酒場の華やかさもはかなさも、あの環境と経験に原点がある。

半世紀近くを経た現代の、しかも政令指定都市の大盛り場を歩きながらそんなことを思い出しても不謹慎か。東京の数多ある繁華街や京阪神の飲み屋街とついでれば、小倉も門司もたいそう懐かしい夜の街だと思っただけ。気後れせずにすむなとも感じた。

鍛冶町にある『鉄板焼 沢』は開店と同時に満席になる人気店だ。食事のときだけでなく、深夜2時までの営業時間中、会社帰りの勤め人や家族連れ、若い恋人、さらには界限の店で働く女性と男性客まで、きちんと棲み分けて来店する。すでに33年になるこの店の主人は、東京・調布の親戚の店で働いた後、小倉に店を構えた。

東京の鉄板焼きは、度はずれた価格と過剰な調理パフォーマンスで上客をもてなす。それが心地よいという人もいるだろう。他方、カウンター・鉄板・店内、いずれもお世辞にもきれいとはいえず、食材もあまり配慮を感じない店もある。こちらが気楽でいいという人もあるに違いない。

だから、清潔感が漂い、店主と従業員の物腰穏やかな鉄板焼きの店はこれまでに見聞したことのないものだった。価格にも、丁寧に磨かれた鉄板とカウンター周りにも、目の前で披露される慎重な調理の挙措にも配膳にも、好感が持てる。酒を飲まない主人は、客から酒の銘柄を教わり店に並べるといふ。鼻屑にしている東京・神保町の酒場の主人も下戸であることを思い出した。

小倉出身の編集委員、牧野君に教えられてご馳走になった焼きうどん（珍しくソース味）、宮崎地鶏のタタキ、熊本の馬刺し、ポン酢もいけど塩とマスタードが合いますよと薦められたステーキ、いずれも堪能した。周辺の店からの注文や持ち帰り用の、アルミホイルを敷いたビニールパック入り「アスパラチーズ焼き」を試したが、次はクラブをのぞきましよう、と引っぱられる。清々しい店だった。

高級クラブと縁がなくなって数年経つ。しかし今回、クラブという場所は各種配慮



サウナ小倉

終電を逃した人の駆け込み寺とあなごるべからず。大浴場にマッサージ、ごろりと横にもなれるし、食事や酒もいただける。サウナコースは2時間1,290円から。朝風呂コースは3時間890円。マッサージコースは60分4,500円から。すべてがワンフロアに取まった盛り場のアミューズメントパークは男子限定、24時間眠らない。





鉄板焼 沢

お好み焼き、とん平焼き、ホルモン焼き。自慢のステーキは、ボリューム3階級のフライ級・ミドル級・バンナム級。鉄板焼とひとことでも言っても、これだけのバリエーションがあれば、お酒も進むし会話もはずむ。P13の写真の焼きうどん(730円)は不動の看板メニュー。ご主人の美しいコテさばきを見なければ、入り口に入ってすぐの席へどうぞ。

の結集だと改めて思った。社交または商用を趣旨とする客の要望を先回りして叶える。

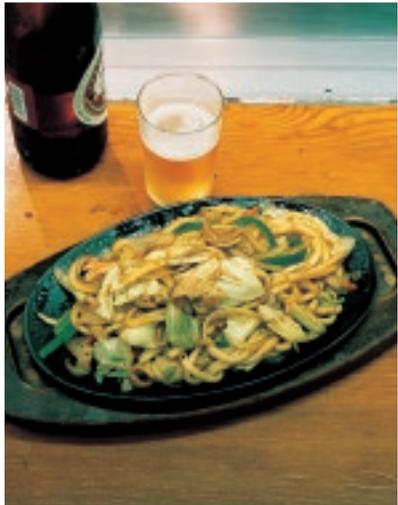
東京銀座の雑居ビルに何十軒とひしめくクラブは、概して天井は低く、人口密度は異様に高く、狭い店内の動線は極めて不具合が多い。その点、おずおずお邪魔した『クラブ 美松』はまず空間が広々としていてたいそう落ち着く。街路に面した大きなガラスの向こうのベランダには緑が配され、ビルの一室に在ることを忘れる。

席に着いたのは、夏らしく涼しげで品のよい和装のママを筆頭に着物姿3名、洋服の2名はまだ学生かもしれない。さて、何を話そう。私は趣味の狭い人間だから、いま読んでいる小説や思想書や自然科学系統の話題を口にしても共感は覚束ない。一座を楽しませる話術に乏しい。どうしたものかと思っていると、隣の女性が穏やかに自身の来歴と夢を語ってくれるのではないか。こういう配慮をこそ楽しみに、客はこの店に吸い寄せられるのかもしれない。

果たせなかった夢、現状から脱出するチャンスをうかがう野心、役割期待をどこまで引き受けられるかの鍛錬……。あちこちから豪放磊落な笑い声が聞こえる。一流である。ここもまた今や懐かしい社会教育の現場なのかと思われてくる。お姉さん方

数名に丁寧に見送られて店を出た。

豚骨ラーメンは好き嫌いがあろう。スープを濃厚に仕立てるためにどうしても独特の匂いが立ちこめる。それが苦手な店の前を息を止めて走り抜ける人もある。しかし『力ラーメン』に行つて、そんな匂いと無縁の店もあるのだと知った。午前9時から午前4時までの超長時間営業。ラーメン



ンとおにぎりを同時に食べる小倉の流儀が印象に残った(でも、なんで?)。

食事をして一杯飲んでラーメンを食べたら普通は帰るだろう。体に悪い。しかし今回は仕事でもあるのだ。腕を掴まれ、まだ帰してはもらえぬ。案内された店はオーソドックスなジャズ・バーだ。往年の、あるいは現役のジャズプレイヤーたちの痕跡が

残る。イラストレーターの矢吹申彦氏がデザインしたマッチ、70年代の新宿DUGで見かけた大きめのホロー製の灰皿、山下洋輔氏が「お前の店の音が一番好きだよ」という音響装置、棚を埋め尽くすレコード。「高級オーディオでも何でもありませんし、そういう趣味ありません。ただ、このスペースに応じた自分の好きな音を鳴らしているつもり」と、1968年創業の『JAZZ STREET 52』のオーナー・林直樹さんが語る。

ちばてつや氏のサインが入った『あしたのジョー』の大きなポスター、ジョーのフィギュアもある(ご縁である)。聞けば、ちば氏の奥様が小倉出身で親しくされているらしい。大切なお守りだと話してくれた。

もうひとつお守りがあった。「きみが一番の弟子だよ」と書かれたビル・エヴァンスのサイン。トイレには、「ナオキ、何もかもありがとう。いつもよいことがきみとともにありますように。ビル・エヴァンス1976」とサインされたモノクロ写真(撮影は中平穂積氏)、ビルから贈られた「1階1列25番(ピアノの前の席)」のチケットも見せてくれた(その後ビルは公演を果たせずに亡くなった)。ビルから、大阪と博多の公演の間に行つてもいいよと言われ、当日ジャズファンを大勢集めて待つて



JAZZ STREET52

主人が、人生のなかでおそらく一番長い時間を過ごしてきたであろうこの店は、星霜を経て作り上げた砦のようなもの。写真ひとつひとつの思い出、壁一面に並んだレコードのタイトルとその場所、すべてその頭のなかに記憶し、けっして忘れることはない。音で心を満たしたい夜は、ここへ。



いたが、なんと移動の途中、台風で新幹線が止まり、ぎりぎりまで待ったが翌日の博多公演を慮って辞退を申し出た、どんなに悔しかったか――。マスターは、思い出話を問わず語り聞かせてくれる。

隣の席の常連客は、学生時代にこの店のアルバイトをしていたらしい。彼も初めて耳にするというエピソードをお聞きし、思いの品々（ビールから贈られたシャツなど）を拝見できた。

40周年を過ぎて、バーの主人は「今度の誕生日まではね」と店の将来を語る。東京都内にこの店があったら、間違いなく週に3回は通う。仕事半分でお邪魔するにはもったいなかった。自らの来し方を静かに語って自慢話に墮さず、エピソードが記憶されるというより佇まいが鮮明に刻まれる。中年と初老の合間で右往左往するこちらには、なんと大きな励ましだろうと思われた。

いつまでもお話を聞き続けたかったが、それでも知らず時間が経ってしまった。ホテルへの帰り道、旦過市場の裏手には古い飲み屋街があるという。ひところの賑わいは失せたが、ここ数年借り手を後進世代に譲って、ちらほら復活の兆しもある。その一軒が『天然果汁屋 ドロップ缶』。立ち寄らないわけにいかない。

は瓶ビールとウイスキー限定。アルバイトの大学生（たいてい女性）が働いていることもあった。しかしもはや『神田川』や吉田拓郎の時代ではない。

祖父の代から35年続く『ナイトインスカイロード』は、ゆったりときらびやかで、小倉のネオン街を一望できるビルの10階にある。私の知る東京のスナックとは全く別物だった。カウンターで若い女性と対面して飲むのは、隣に座られるより気が楽だと思っていたが、この日はたまたま隣に座ることに。客の緊張を解き、和ませ、会話を促す「聞き上手」という才能はあるものだ。カジュアルで少しだけ浮ついた雑談に興じる自分が他人のように思えた。他愛もない会話だから見事に記憶から抜け落ちる。それもまた一流の条件だろう。

満腹だし酒も飲んだ、音楽はないかという向きには、ただのカラオケではないギターの生演奏で歌える店が用意してあった。すでに30年。『ピーマン307』は店主がギターを弾いて客の要望に応えてくれる。バンド経験に由来する多彩なレパートリー。百科事典のような分厚い本を開く手間もない。若い世代の歌唱力と身体技能に気圧されて、歌いたい歌えないと自ら抑制してきた世代にはうってつけだろう。

あでやかで賑やかな若い女主人がひとり常連さんが数人。それだけで満員になる店だった。L字形のカウンターの内側で、週末に控える小倉祇園祭の予兆に煽られてか、持ち前の自然な快活さが滲み出る。常連客（門司の理髪店4代目）とはほとんど夫婦漫才の域に達する掛け合いで、知らずペーすに引き込まれた。



翌日／再び街へ。

サウナに立派な飲み屋が併設されていると誰が予想しただろう。風呂に入り、サウナで汗を流し、冷えたビールをまだ陽の高いうちに飲んでいる自分。贅沢だ。ベテランの女性に体育会的なマッサージを受けて（痛かったが効果あり）、二日酔いも疲れも

しかし、そもそも私はカラオケが苦手だ。一時ずいぶん通ったが、あるとき誰もアンコールしてくれないことに気づき、なげなしの自尊心が傷ついた。かく言う私が数年ぶりに人前で歌ったのだから（楽しかった）店の実力は十二分に証明されたと思う。

前日に続いて締めは旦過市場裏のバー。50年を闊した老舗『カクテルバーしろ』



をお訪ねする。古稀を超えて仲のよいご夫妻の穏やかでやさしい佇まいと、フルーツをその場で搾ってつくるカクテル各種（とりわけダイキリ）と、自家製の床漬けで、かつてのこの界隈の賑わいを巡るお話を堪能する。どういうわけか病院関係者多数ご来店のさなかに闖入し、どこから見ても旅行者であるこちらはおおいにからかわれ

払拭される。居心地のよさに長居しすぎる客もあるらしい。

今晚の腹ごしらえは『おもてなし北川』という和食の店。ご主人がお運びの若い女性ひとりを相棒に、清潔な店内で寡黙に、おごらず食事を供してくれる。材料はいいに決まっているので、あえて「こ

天然果汁屋 ドロップ缶

よく笑いよくしゃべり、気持ちよく酒を飲めれば今夜も幸せ。幸せはささやかで、それはすぐそばにあるのだと教えてくれる一軒。若きママのおおらかさにつられてか、はまたまたオーラの力か、この店で知り合い成就するカップルが多いというから、新旦過街の縁結び酒場と呼ばれる日も近い、か？

れはどこそこ産です」などと無駄口も叩かない。ときおり通って親しくなりたいと思わせる店だった。生きていれば多少腰に傷もつく。抱えている面倒を年来の友人に打ち明けようか、決心のつかぬままに会い食事をするならこういう店がいいと思った。

移動の合間に立ち寄ってご挨拶だけした小料理店は女将さんが鮪を握る。「我流ですから」と謙遜するが席は常連で埋まっていて、知人に聞けば礼儀を弁えない客は追いついてしまいうらしい。小津安二郎の映画で出会ったことのあるような、品のある、背筋の伸びた、垢抜けした美しい女将だった。穴子のにぎりを食べ損ねた。

スナックは、70年代に田舎から上京した身には、今やノスタルジーの対象である。たいいていカウンターしかない狭い店内、奥にテーブルが1席という場合もある。口にできるものは乾き物がほとんどで、飲み物

る。ちよっかいを出されるのも酒場の楽しみだ。先客が帰った後、ご飯と味噌汁までご馳走になった。同行のカメラマン齋藤君と共に、カウンターでがつがつとかきこむ。私の両親とさほど歳が変わらないからか、お二人がだんだん他人と思えなくなってきたが、さすがにこれ以上甘えるわけにはいかない。12時はとくに過ぎた。足許が覚束なくなっていたし、酔いも回っていたから、きちんとお礼が言えたかどうかとも覚えていない。申し訳ない。さあ、帰ろう。

……でも帰れなかった。旦過市場には有名な屋台のラーメン店があると言う。明日は朝5時に起きて空港に向かう予定だからと固辞するも、結局いそいそと店を目指す。アーケードの途切れるあたり、大通りに面してその店があった。東京の屋台とはまるで規模が違う。風情もある。ラーメンを調理する屋台と、おでん鍋を載せ客を座らせる屋台とが離れている。しかも酒を置いていない。同行者がコンビニで調達してきた酒を飲みながら、満腹のはずの私はおでんを注文し、ラーメンを汁まで平らげた。

あー、2時間後には起きなければならぬ。ほとんど徹夜ではないか。こんな年齢で無茶をしてはいけないともう一人の自分言うけれど、小倉の「夜のまち」では全く功を奏するはずもないのだった。



居酒屋 たる

杓の角に盛った塩を舐め、酒を口にする。角打ちの原点、流儀にも通じる飲み方で味わう日本酒には、女将さん特製のおでんが合う。門司の台所、門司中央市場や小原市場を回り、新鮮な野菜と魚を仕入れて毎日店へ。引き戸がわずかに開けば、開店の合図。早い時間から、常連とテレビを見ながら晩酌するも楽し。



栄華の記憶を更新する
渋い人々。

門司

(栄町)

写真=齋藤主吾 文=赤井茂樹



宿から小倉駅まで徒歩5分、駅に着いてみると、予定の電車までほんの数分の余裕がある。連れの編集委員・牧野伊三夫君熱烈ご推奨により、駅のホームで肉うどんを食す。大雨の上がった7月の午後4時過ぎ、ホームは立っているだけで汗が流れる。おばさんが一人働く狭い売店から大量の湯気が運ばれてきて、ふと周囲を見渡せば、まず見たことのないデザインの車両が駅に出入りしているではないか。知り合いの鉄道ファンに話してやろうと思いつきながらうどんをかきこみ、列車に飛び乗った。

鹿児島本線で10分ほど、車窓に煉瓦造りの倉庫街が見えてきてほどなく門司港に着いた。ここは磯くささのない港だった。私がかつて暮らしたのは、東京・隅田川の河口からやや離れた永代橋のたもと。そんな場所さえ、風向きによっては磯の香を感じるのに、よほど関門海峡の流れが速いのかもしれない。対岸は下関、ここが壇ノ浦かと確認して銭湯に向かった。

なぜ銭湯かと尋ねれば、山の中腹にあって、大分・別府の湯の花を入れたお湯が特徴と言う。ところがタクシーの運転手さんに聞けば数カ月前に店じまい。急遽行き先変更、別の銭湯に慌ただしく入店。15分後に外に出る。まだまだ明るい週末の夕暮れを飲み屋に向かう。手拭いを下げて下駄で

歩けば心地よさは倍増するに違いない。大通りから徒歩2、3分のところに『居酒屋たる』があった。ビルのやや奥まった1階。カウンターの内側には店名にふさわしく香川の酒「川鶴」の薦被りが置かれて



ている。酒は栞で供してくれる。珍しい酒なのでお訊きすると、角打ち（立ち飲み屋）で教わって、以来この酒だけを扱ってきた由。L字形のカウンターの奥には常連さん3名。10人入れば満席か。

**カクテルスナック 館 (P20)
飲み処 あんかー (P21)**

喜寿を迎えてなお健康を自負するマスターの隣で、おいしそうに煙草をくゆらすマダム。二人の掛け合いを聞きながら、笑いながら飲むマティーニは、なんと苦く、ふくよかな味（P20）。酒が先か、カツカレー（600円）が先か。迷うならばぜひ両方一緒に食すべし。損はさせません（P21）。

42年前に結婚、子ども2人を保育園に預けながら店を切り盛りしてきたという女将が来歴を話してくれる。この場所に移って33年。食事処のつもりで始めたが、昼も夕方酒を飲む人しか来ないから最初はどぎまぎした。門司港に出入りする港湾労働者が主なお客さんだから無理もない。当時1万5千円の日当を持って飲みをやってきた。

開店当時から評判のおでんは手作り、ロールキャベツも巾着も全部そう。見た目にも美しくたしかに美味。女将は「淡々と生きてきただけだし、ぜんぶお客さんのおかげやわ、水の流れのようなもんだし」と外連味なしに口にされる。

先の常連さんは「土曜6時組」と自称するお三方だった。もう何年来の習慣となっているふうで、誰が言い出すでもなく定時に集うには、家庭的で味自慢のこの店の雰囲気と料理と酒がまことにふさわしい。

取材を別にすればこれといった用事もな

九州・アジアの玄関口として 国内外を結ぶ北九州空港



アジアにも近く、日本と世界をつなぐクロスポイントに位置する北九州空港は、人・モノ・情報の新しい交流拠点を目指して進化を続けています。そのポテンシャルは無限です。

北九州空港からの就航路線図

週3往復
(水・金・日運航)
片道90分の空の旅!

1日16往復
便数充実!
早朝・深夜便で
便利!

ソウル(仁川)

東京(羽田)

沖縄(那覇)

1日1往復

定期国内便
定期国際便



「うちは、ただのバーとは違う、炊き物、

店の1カ月遅れでこの店でもカレーを出すようにしたからな。まだ今年の4月から。飲みに来るついでにタッパ持参、カレーを持ち帰る客もあるし、ご飯は食べずにルーをつまみに酒を飲む客もあると聞いた。バーが食堂を兼ねる楽しい店だ。まだ少し飲めそうな気がしたから、『カ

く飲み歩く、わずかに爛れた、特権的な幸福に感謝しながら次の店に向かう。途中、小倉出身の連れの機転で予定外の一軒(鮎屋)に立ち寄って、慌ただしく馳走になる。小ぶりのにぎりが見た目にも愛らしかった。酒と食い物に関しては臨機応変が大切。それと願掛け・おまじないの要素も大事。連れば、東京から帰省すると実家に帰る前に門司のこの店に直行するのだと言う。一種の儀式と化した慣行は、他人にはまず無意味だが、当人には大切なおまじない。私にも思い当たる。翌日面倒な会議がありそうなきは、自虐的に焼肉店に赴く。しかも2時間は並ぶ店に出かける。他人を嗤(わ)えない。軽くつまんで店を出て、それでもまだ食えそうな気がして、酒好きには、自制心の強い者もあれば、翌日の予定などはすっかり放棄できるお調子者も含まれる。カツカレー目当てに『飲み処 あんかー』に向かう。洋食屋の老舗、銀座の煉瓦亭で修業し、地元で調理師をしていたマスターが始めて10年のスナック。カウンターだけの親しみやすい店だ。

煮物、揚げ物を出すからなあ。カレーはスープだけで3日はかかるし、それからルーを練って、具はミキサーですっかり細かくし、全部家で仕込んで店で温める。息子がカレー屋をやりたい言うからまず教えたんや。」「ここよりもちよつと辛目」とは奥さんの補足解説。でも土台は一緒。「息子の

クテルスナック 館」に立ち寄ることにした。端正なドライマティーニを呷って、マスターから博多でのバーテンダー修業時代(昭和28年、ころ)の逸話を存分に聞かせていただいた。当時、中洲にはバーテンダーがとにかくたくさんいたという。バーテンダー協会もあった。水商売の世界では「男は額縁の裏のゴミである」と言われたものの、昭和30年前後、大卒初任給が7〜8千円のころ、チーフバーテンダーはマネージャー兼職人として厚遇され、月に3万円稼いでいた。1ドル360円の時代に1000ドル・カー(車)を買った上司もあったな、と。

78歳の現在も矍鑠たるマスターは、「体は丈夫だから、両親には感謝しとるよ。この世界に入って長いけど、まあ男はすべからく忍耐すべしだね」とおっしゃる。下関の半島出身のママは幼いころを振り返り、「もらった最中の味が忘れられん。子供心にお化粧の匂いが何ともよかったんよ」と水商売のお姉さんたちを思い出す様子であった。闊達なお二人の会話を聞きながら、勝手なことこちらはかなり酔いが回り、もはや時間の観念が失せていく。ここで北九州市「夜のまち」訪問の記憶は途切れる。

赤井 茂樹
あかい・しげき／編集者。1976年大学入学、8年後に卒業。人より5年遅れて社会人になる。中学1年で、同級生女子が読む『暗夜行路』を手にして読書に目覚める。俄(にわか)仕込みは否めず、今も文芸や思想と本質的に無縁ではないかと自問。最新刊は山本貴光著『コンピュータのひみつ』。

飲まない日も、飲めない人も。
夜のおやつ。

写真=齋藤圭吾 文=つるやももこ

たった1軒でも盛り場と呼べる場所がある。目印は黄色い看板。木製のドアを開けば、人見知りの、でも笑顔が心地よい、若きマスター石田真樹生さんがいる。お酒は独学、たくさんは飲めないけれど、香りが大好き、と。たしかにスコッチウイスキー、アイリッシュウイスキー、ワインと、嗅覚で愉しむお酒のセレクションが秀逸。その彼がずっと食べていたほど愛してやまないのがクリームブリュレ(500円)だ。好きが高じて、店で唯のデザーとしてメニューに昇格。ウイスキーをひと舐めして、スプーンで卵色のブリュレを口に運べば、シユガー&スパイスの口福が広がる。



epidemic
「ほろ苦さとささやかな甘さと。」
小倉南区富士見2-6-7
☎ 093-922-2269
20:00~26:00 月休

STARFLYER

CREDIT CARD × MILEAGE

STARFLYER CARD

デザインで選ぶステイタス。



入会金 永年無料

年会費 永年無料

マイル機能付クレジットカード



AMAGURI FACTORY

「そこにネオンが灯るから。」

小倉北区鍛冶町1-6-8 南国ビル1F

☎なし

18:00～24:00(栗が売り切れ次第) 日・祝休

街にネオンが灯るころ、店の一日も始まる。窓に火を入れ、温めて、栗を投入して1時間強。まんべんなく栗に熱が入るよう付きっきりで番をする。「うちは質のいい栗を納得できる甘栗に仕上げる。その日に焼いた栗しか売らないよ」と、ご主人。街角で30年。世の中がいろいろ悪いときも知っている。何より大切なのは、長い付き合いのお客さん。お父さんのお土産を、家で待ち焦がれていた息子が今、父になって夜の街に甘い栗を買いに来る。だからこそ思い出の味は落とせない。袋入り500円。焼き上がりは午後8時。「ぜひ、焼き立てを指して来てください」。



スイーツセラピー ベジ×フル

「飲んだあとにも、どうぞ。」

小倉北区紺屋町7-3 オークビル3F

☎093-551-0083

18:00～27:00(あなたが満足するまで) 日・祝休

昼間は料理学校の先生を務める店のオーナーは、自らをスイーツセラピストと呼ぶ。セラピスト開発のフレッシュジュアフルとフルーツを使ったカクテルは全部で50種。希望すればノンアルコールにも作り変えてくれる。ビタミンBとカルシウムを有効に摂れる「アポカド抹茶」はストレス解消効果あり。カリウムとクエン酸を豊富に含んだ「桃ライム」は、疲労物質の排泄を促し、肩こりに効き目あり。手作りジェラートが乗ったパフェなどデザートも豊富。女性はもちろん男性のお一人さまも大歓迎。二次会にスナックもいですが、甘い思いやりを今夜の締めくくりにはいかがでしょう。

ドレスデン

「麗しの、深夜ケーキ。」

小倉北区鍛冶町1-6-17 鍛冶町第一ビル1F

☎093-511-2803

19:00～25:00 日・祝休

ショークースのスポットライトを浴びて輝く。満ちたケーキはまるで、雑多な夜の街に浮かび上がる輝く宝石。お誕生日のプレゼント、お店のお持たせ、もちろん自分用のおやつにも。40年ほど前からずっと変わらず、フルーツやクリームたっぷりの、深夜の甘い誘惑がそこにある。熱い夜には、さわやかなコーヒージェリーやマンゴープリンを。人肌恋しい季節には、ほっと心が緩むチョコレートケーキやプリンがおすすりめ。1つ300円からよりどりみどり。どのケーキも小さくてかわいいから、ひとりでも2個、3個、それ以上と欲張っても大丈夫。大人の世界では、誰も文句は言いません。



カラメン

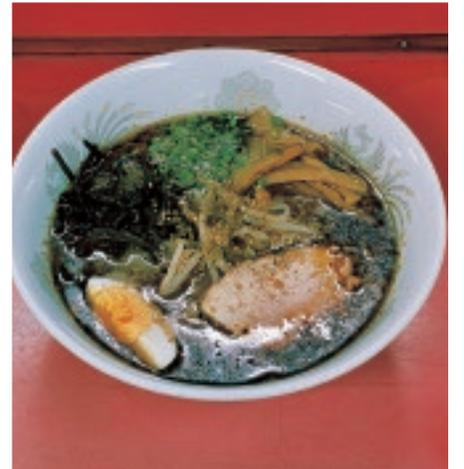
「明日の力に、締め一杯!」

小倉北区堺町1-10-15

☎093-521-1466

9:00～28:00 日・祝休

飲み屋街の喧嘩を抜けて夜の公園へと辿り着く。すると、ほろ酔いの背広姿が腰を下ろすベンチの向こうに、ひととき元気な黄色い看板が見えた。食欲をそそる豚骨の香りに誘われて暖簾をくぐれば、真夜中にも関わらず忙しく働く店員さんたちの姿が。「特製ラーメン、硬麺で!」。待つこと数分、湯気と一緒に焦がしニクの良い香りが立ち込めるどんぶりが目の前に置かれる。1杯750円。店を見渡せば、額に汗を浮かべながら、顔を上気させながら、どんぶりを抱える男衆の姿。時計を見れば午前2時。腹に収まる一杯は、明日の働くエネルギーとなるに違いない。



元祖 あっさりうどん

「さっぱりしたい夜もある。」

小倉北区堺町1-5-22 堺町会館1F

☎093-521-5545

20:00～27:00 日・祝休

「以前は『きつね』も『たぬき』もありましたけどね、今は『あっさり』だけです」と、ご主人。夜のむじなほどこかへ去り、そうしてお品書きに残ったのは、梅と生姜の香りが効いたその名も「元祖・あっさりうどん」600円也。出汁を引き立たせる具の要、梅干は、毎年夫婦で漬ける手作りの逸品。その量、1トンというから驚きだ。3年寝かせ、味がまろやかになったものしか使わないのもこだわり。店がいちばん賑わうのは、今日が終わって明日が始まる0時前後。一日いろいろあったでしょうが、ひとまず酔い覚ましたの一杯をいただいて、さっぱりあっさりしましょうよ。



テイク&デリバリー pizza peck

「お望みの場所へお届けします。」

小倉北区堺町1-8-1 丸源8ビル1F

☎080-1799-5050

19:00～27:00 日・祝休

芳ばしいチーズの香りに足が止まる。振り返るとビルの入り口に小さなピザ屋さんがあった。メニューは、ミックス、ピリカラじゃがミート、ほうれん草とツナの3種類で一律1,350円。お酒のあてにと、近隣のスナックやバーからの注文がひっきりなしに入る。とはいえ店にはガスオーブンが1台あり。しかも一人での切り盛りはさぞ大変かと思いきや、二度に3枚。作って焼いて、作って焼いてを繰り返します(笑)。合間に、ばばっと届けに行きますから大丈夫です!と、何とも軽快・軽妙な若きご主人。我々は、店先で焼き立てをほおばって、さて、もう一杯ひっかけに参りますか。

居酒屋 瓢

けっして広くないカウンターの内側で、揚げ物、煮物、お造り、すき焼き! 何でも作ってしまうママは、客の胃袋を掴んで離さない。ゆえに、出張で若松へやってくるたびに暖簾をくぐる遠方の常連さんも多数。まずは腹ごしらえをすませてから、カラオケで発散するのが、この店の流儀なり。



若松へ酒を飲みに行こうと、編集委員を誘い、洞海湾の戸畑の渡し場まで行く。洞海湾は、響灘から八幡の工場が連なる内陸へと、河のように細く入り込んだ海だ。僕がまだ北九州市に住んでいた頃、クジラが迷って来たとニュースになったことがある。高度成長期には、公害の代名詞のような汚染された海だったが、最近は随分きれいになった。

対岸の若松までは渡船で3分。大人100円、小人50円。渡し場のすぐ傍には若戸大橋がある。この赤い鉄の吊り橋は、1962年に完成した当時は「東洋一の吊り橋」と、北九州市の自慢であった。この橋をバスで渡っていく方法もあるが、渡船に乗ってみたかった。

待合室に置かれた水槽にメジナが一匹泳いでいた。全身濃い灰色の地味な魚だ。近くで釣ってきたのを職員が放り入れたのだろうか。暑いのに、スーツを着てビジネスカバンを下げた初老の男が、渡船を待つ間、じっと観ていた。

エンジン音が聞こえ、対岸から船が到着したと同時に、ざあーっと激しいにわか雨が降り出した。自転車を押し下りして下船してくれる客のなかに、空を見上げて困った顔をしていた女子学生が一人。渡し場の職

員が、備え置き傘を差し出した。「これ持っていきい。そんなかわり明日持ってきてよ」

女子学生は、軽く会釈をして傘を受け取った。こんなやりとりを見ただけで、東京暮らしの僕は心にほろりとくる。船にしてよかった。

若松はかつて、石炭の積み出し港として



賑わった街だ。当時の若松を舞台に、この地で生まれた作家・火野葦平は、小説『花と龍』を書いた。

若松駅のそばに資料館がある。この駅の駅舎は、木造の風情ある瓦屋根だったが、現在は建てかわってしまった。まわりも、次々と古い建物が壊され、当時の味のある風景が失われてしまったことが残念

だ。とはいえ、少し歩くと銭湯などもあり、のんびりとした街並みがつづく。

海風にふかれ、移ろいゆく街並みの中に、かつての面影を残す「ちどり横丁」がある。昔、ここは遊郭だったという。横丁の入口には、縄暖簾を下げた『居酒屋瓢』と、おでんの看板を出す『おでん 居酒屋 かんちゃん』がある。僕は、こういう店を見つけて入ってみたいと思うのだが、常連からつき回されるのを恐れて結局あきらめることが多い。今夜は入ることに決める。

『瓢』の暖簾をくぐると、派手な万国旗の柄のドレスを着たママが「いらっしやい」と迎えてくれた。すでに常連が3人飲んでおり、僕等が入り満席になった。茹でサザ

ゾロメうた
かきこみめし。
若松
(本町)

写真=齋藤圭吾、文=牧野伊三夫

エ、おきゆうとなどの肴がうまそうだ。
ビールを飲んでみると、ほどなく、また一人常連が現れ、みんなで席をつめた。狭い店で、見知らぬ常連客と肩寄せ合って飲むのだが、ママの橋田一恵さんの気のきいた客あしらいのおかげで、居心地がよい。やがて、お客がカラオケのマイクを頼むと、ママが棚からノートを取り出した。常連たちの名前が記され、そこによく歌う曲番が簡条書きされている。素晴らしい。歌い終えてモニターに出る点数が66点や77点のゾロメになると、ママから好きなお酒が一杯

プレゼントされることになっている。歌が終わわり、客たちがいつせいにモニターを見るのが可笑しかった。

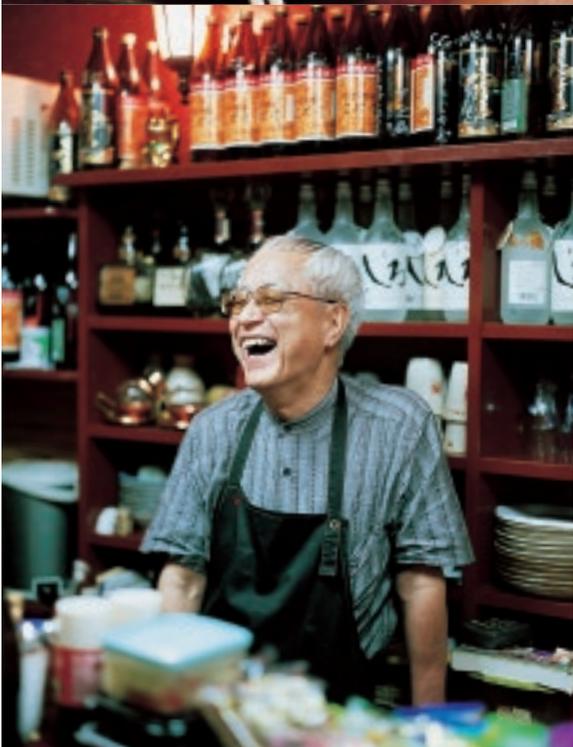
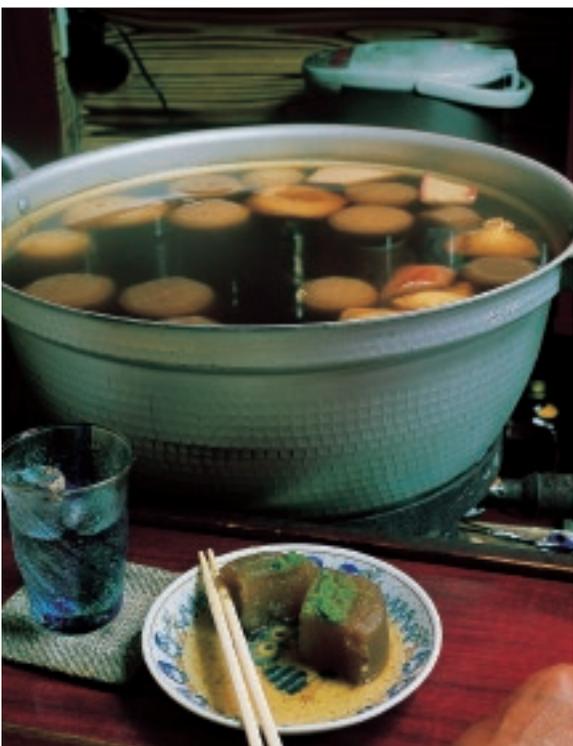
しばし飲んで、隣の『かんちゃん』へ。扉を開けると満席。短パンにサンダルばきの中高年たちがマイクを奪い合って盛大にカラオケ大会をやっている。席を空けてくれたお客も、一度店を出たかと思うと、カウンターの内側へ立って飲みはじめた。

マスターの神田和則さんは、60歳を過ぎ、年金だけでは食えないと、包丁も持ったことがないのに、おでんなら簡単だろうと店

をはじめた。ところが、このおでんの味がひどかった。店に来た同級生には、「さつま揚げは、おでんにせずには焼いてくれ」と言われた。あまりのまずさに、鍋ごとひっくり返されたこともある。今では、めずらしく柚子こしようを添えた、酒に合うさっぱりとした味のおでんになった。

おでん 居酒屋 かんちゃん (P30) 家庭料理の店 おつかれさま (P31)

かつて、夜の帝王と呼ばれていた(らしい)かんちゃんが、数々の夜遊びを繰り返した後、還暦の手習いではじめたおでん屋は、連日笑い声の絶えない社交場だ (P30)。一日の終わりに、誰かに優しく声をかけてもらいたい。賛辞を言うなら、おいしいご飯もいただきたい。ここに来ればどちらの望みも叶います (P31)。



わーっと拍手がおこり、冷蔵庫からビールが出てくる。受け取ったお客は、自分のコップに一杯注ぐと、隣の人へと瓶をまわしていく。

そのうち、神田さんが歌いゾロメを出す。「ありや、しまった」と頭をかきかきビールを取り出すと、「墓穴を掘った」と、客がひとときわもりあがる。カウンターの内も外もない様子は、どこかの集会所での酒もりのようだ。勘定をするときには会費を支払っているような気分になった。

店を出て夜道を歩くと、広い駐車場の片

隅に『家庭料理の店 おつかれさま』という看板の店があった。入ってみると、高齢の男性と女性がカウンターの隅で静かに飲んでいる。ドビュッシーの『月の光』がかかっていた。にぎやかなカラオケのあとだったせいでろう、しばらく耳を傾けて聴く。ママの井上聡子さんが、他にもいろいろなるアルバムがあるのだと、イエベスの弾く『アルハンブラの思い出』やベートーヴェ

ンの『皇帝』などを出してくれた。

焼酎の水割りをもらう。ママは、にんにくとセロリを混ぜた自慢の味噌をつけて食

べてと、茄子を焼きはじめた。焼きながらぬか漬けや煮たまご、ポテトサラダを出してくれる。何も言わなくても、次々とおいしそうな肴が並んだ。

「ご飯とトマトのカレーもありますよ」と言うのを、傍で写真を撮っていた齋藤君が耳ざとく聞き、茶碗に山盛りのご飯をもらってかきこみはじめた。その様子があまりにうまそうだったので、僕も焼酎をやめてご飯をもらう。これでシメに。

いつしか夜がふけ、渡船の最終便も出てしまった。



小路の夜は、まるで夢のなか。

折尾

(北鷹見町)

写真=齋藤圭吾、文=つるやもこ

暖簾の内側、閉ざされた扉の向こうから、すでに熱気が伝わってきた。迷ったらまず開けるべし。思いきって手をかけた引き戸は、カラカラと軽い音を立てて開いた。中から聞こえた闊達な笑い声は、「いらっしやい」のひとつでママのものだったとわかる。名前は店名と同じ、「美鈴」さんだった。すでに常連さんが3人。わたしたちも席に着いて焼酎の水割りを頼む。

「なんか食べてきた?」。美鈴さんはグラスに氷を入れ、麦焼酎を注ぎながら聞く。「さつき、隣の『せつ』さんで、ポテトのお焼きをいただきました」と、連れが答えた。美鈴さんの手元を見ると、二人目のグラスに、ドボドボと音がしそうな勢いで豪快に酒を注いでいる。注ぎながら「漬け物どう?」と聞き、焼酎を我々に渡しながら顔をのぞき込んだ。動きに無駄がない。

水割りは、目分量でこしらえたはずなのに絶妙の濃さだった。次いで出てきたナスの床漬けに箸をつけると、「ナス、まだ浅いかもしれんよ」と。たぶん浅い。きつと浅い。と、一人繰り返す。「そうでもないですよ」と答えると、「いいや、浅いと思う!正直に言わんと!」と。「ちよ、ちよっと浅いかもね」と一人が答えたが、すでに美鈴さんは次のつまみの用意に入っていた。



『炉端焼 せつ』のママ、せつさんに聞いたところによると、飲み屋が連なるこれらのビルは、26年ほど前に西鉄北九州線・折尾電停の発着場を有して建てられたもの。3棟あるうち、ここ、おりお小路の入るビルの隣の建物の3階が電停だった。それ以前の折尾駅一帯には、木造の小さな飲み屋が連なっていた。『美鈴』と『せつ』はお

りお小路ができた当時から古株同士。せつさんは4軒店を持っていたこともあり、今は息子さんがはす向かいで商売をしている。美鈴のママは2代目で、先代はお母さん。娘の名前を店につけたという。またひとり、お客さんが扉を開ける。小柄な女性だ。「はい、おはよう」と美鈴さん。奥に座っていた男性客が続く。「すわちや

ん、ちよつとふっくらしたか。美人になったな。すわちやんと呼ばれた女性は、席に着くなり「なに言ってる、いつもやけん」と切り返した。注文なしに、ビールが置かれると、こちらに顔を近づけて言う。「わたしね、お酒が好きなんよ。でも、この人(ママのこと)飲ませてくれんから」。どうやら、ビールは酒のうちに入らないらしい。

奥の男性がカラオケを歌いだしたので、すわさんは歌わないのですかと尋ねると、グラスを指し、「わたしは3つ飲まんと歌いきらん」と即答。そのまま「軟骨ちようだい」とカウンターに声をかけ、「おつまみにもうるさいんよ」と付け加えるが、なぜかそこだけ小声なので、笑ってしまう。「うちのお客さんは、遠賀の人が多いんよ」と、美鈴さんが教えてくれる。今の北九州市の西側の一部は昔、遠賀郡に属していたこともある。炭鉱で所縁もある。遠賀と折尾は今も隣町のようなものだから、越境して飲みに来る。産業も文化も共有するところが大きいから言葉も似ている。そういえば、小倉言葉に比べて豪傑な折尾言葉は、ここならではの魅力だと教えてもらったことがあった。しかしながら、今晚は人ごとではすまされぬ。(以下折尾の言葉で)歳はいくつだ、結婚していないのか、飲んではかりないで1曲は歌いなさい、歌わ

『美鈴』にて。こちんまりと肩を寄せ合い
会話に興じるふたり、中村武子さん（左）
と宇都すわ子さん。週5日通ってくる常連
さんもいるというから、すべては美鈴さん
の人徳である。お酒を飲んでいると、差し
入れの茹でトウモロコシが回ってきたり、
ラスクを渡されたり。カウンターに並ぶこ
とで生まれる連帯感は、この店ならではの。



んと帰れんよ、などなど……。土地の言葉で、しかも洒脱に責められると太刀打ちできない。

そこに、話の流れを変える救世主の登場。近くの『中村旅館』の女将さんだった。

「すわちゃん、あらー会いたかったよ」と中村さん。3カ月ぶりの再会らしい。するとすわちゃん。「わたしはあなたのこと夢にも見なかった」と真面目な顔で言う。めげずに、隣の席を陣取る中村さんを見て、すべての謎は解けた。これは愛だ、気質なのだ。

おうおう、もう怖くないぞ。吊るし上げられ、あれこれと揶揄されることは歓迎されていることと受け取ることにした。

美鈴さんは北島三郎の『橋』を、喉を転がしながら歌っていた。編集委員が「よっ、美鈴！」と声をかけると、誰かが「美鈴はいい名前やけ。ママを呼び捨てにするなっ！」と叫ぶ。腑に落ちれば、いちいち気にならなくなるものだ。

しばらくして、すわさんがマイクを握った。中村さんがつぶやく。「すわちゃん、かわいらしい声出すねえ」。すわさんは、喜びも悲しみもみんな夢のなかと歌っていた。消えていった思い出も、みんな夢のなか、と。帰り際、話し込むすわさんと中村さん



た。中村さんがつぶやく。「すわちゃん、かわいらしい声出すねえ」。すわさんは、喜びも悲しみもみんな夢のなかと歌っていた。消えていった思い出も、みんな夢のなか、と。帰り際、話し込むすわさんと中村さん

酒を飲むのはこんなにも体力がいるものなのか。

カウンターの向こうに、寿司桶に盛られた炊きたてのシヤリが湯気をたたえて光っていた。職人さんが、厨房をテキパキと動き回っている。

「何にしますか？」。祭りを

二鶴寿し (P36) 炉端焼 せつ (P37)

昭和32年から続く『二鶴寿し』。魚屋から始めた店は2代目・梢忠善さんが父から継いだ。二鶴巻き(630円)は背筋の伸びた大将の寡黙な仕事ぶりと同じく、清々しい味だ(P36)。『炉端焼 せつ』のママ、せつさんは市場に寄って買い物後、夕方4時からお客を待つ。ポテのお焼きは、お母さんのお弁当を思い出す味(P37)。



横目で見ながら、美鈴さんに言った。「人生の勉強になりました」。すると美鈴さんはパチンと両手を打ち、人さし指をピッとこちらに向けて、ニンマリ笑った。あれは、夢だったのだろうか？ はす向かいの『二鶴寿し』で考える。夜の街でお

酒を飲むのはこんなにも体力がいるものなのか。カウンターの向こうに、寿司桶に盛られた炊きたてのシヤリが湯気をたたえて光っていた。職人さんが、厨房をテキパキと動き回っている。「何にしますか？」。祭りを思わせる、凛々しい法被姿で大将が話しかけてくれる。「白身は何がありますか？」と聞くと、イサキと鯛があるという。「イサキは季節ですよ」と教えてくれたのに、「では、鯛で」と訳のわからない注文をしてしまった。大将は優しく笑って許してくれた。やっぱりまだ、夢のなかにいるようだ。ヒラスを紫蘇で巻いた二鶴巻きを食べて、シヤキツとした気持ちを一くらか取り戻し、燗酒をいただいで外へ出る。あたりはすっかり暗かった。JR折尾駅の三角屋根が浮かび上がる。ケヤキの木に小鳥が群がり大合唱していた。折尾に西鉄電車が走っていた10年前までは、家路につくお父さんたちが、一杯ひっかける社交場として、駅ビルの酒場は重宝がられていたに違いない。とはいえ、昔は昔だ。小路には、今夜もちよっといじわるで面倒見のいい人たちが集まる。人に会えば街を感じる。夜の街は人に、店に、生かされているのだなあ。

迷路路町18軒、ここにも見つけた憩いの4軒。

そこに扉があるから、
開いてみる。

写真=齋藤圭吾、編集委員 文=つるやももこ 絵=牧野伊三夫

若松



居酒屋 瓢
若松区本町 2-14-24
ちどり横丁内
☎ 093-771-1275
17:00 ~ 26:00
第1・3日休

小倉



**ナイトイン
スカイロード**
小倉北区堺町 1-10-12
丸源 17ビル 10F
☎ 093-531-3907
20:00 ~ 26:00
日・祝休

小倉



鉄板焼 沢
小倉北区鍛冶町 1-3-15
堺町テラスビル 1F
☎ 093-511-5821
18:00 ~ 26:30
(オーダーストップ 26:00)
日・祝休

中央町

スナック 泉

八幡東区中央 2-14-11
☎ 093-671-1825
19:00 ~ 25:00
日・祝休



鉄の街の東門前、中央町で、3代45年続くスナックの老舗。入り口はいたって普通だが、階段を上り扉を開けると、藍色のカウンターと正装のマスターが迎え入れてくれる。「なにせ古い店ですから、内装は少しずつ手を入れていりますよ」とのことだが、昭和モダンの雰囲気を残しつつ隅々まで磨かれた店内は、経年の古さを感じさせず、とても清廉。若松からわざわざ足を運ぶ常連がいるというのにも納得だ。会話を楽しみなながら飲むのにふさわしい一軒。チャージなし。1杯700円から。

中央町



カクテル 102

八幡東区中央 3-4-18
吉坂ビル 1F
☎ 093-682-0102
18:30 ~ 24:00
日・祝休

オーダー・ハップバーをこよなく愛するマスター、岡部吉治さんは中央町きつてのモダンテイストに達しない。12カ月分、12種類のバースデーカクテルを考案したり、大分県玖珠町出身の妻を持つ常連さんのために、その名も「ククス」というオリジナルカクテル(写真・700円)を作ってみた。当のご主人は「遊び心で勝手にやっています」といつて謙虚。東京で学び、店を持ち33年。にこやかな笑顔と、確かな技術はその目と舌で確認を。チャージなし。1杯600円から。

若松



**おでん 居酒屋
かんちゃん**
若松区本町 2-14-24
ちどり横丁内
☎ 093-771-3028
18:00 ~ 24:00
日休 (その他月に一度、月休)

小倉



ピーマン 307
小倉北区紺屋町 8-1
丸源 30ビル 7F
☎ 093-521-6771
19:00 ~ 26:00
(金・土のみ ~ 27:00)
日・祝休
<http://www.geocities.jp/piman307/>

小倉



クラブ 美松
小倉北区鍛冶町 1-3-4
美松コア 5F
☎ 093-521-6400
19:30 ~ 24:00
日・祝休

若松



**家庭料理の店
おつかれさま**
若松区本町 3-5-5
☎ 093-751-9519
17:00 ~ 24:00
不定休

小倉



カクテルバー しろ
小倉北区魚町 4-2-3
新旦過街内
☎ 093-521-9750
18:30 ~ 24:00
日・祝・祭休

小倉



JAZZ STREET52
小倉北区古船場町 6-24
第7アイズビル 2F
☎ 093-522-0055
18:00 ~ 26:00
元日休 (不定休あり)

折尾



炉端焼 せつ
八幡西区北鷹見町 13-10
オリオンプラザ内・
おりお小路 1F
☎ 093-691-6026
16:00 ~ 22:00
不定休

門司



居酒屋 たる
門司区栄町 9-8
第一ビル 1F
☎ 093-332-2194
17:30 ~ 24:00
日休 (祝日は営業)

小倉



**天然果汁屋
ドロップ 缶**
小倉北区魚町 4-2-2
新旦過街内
☎ 093-511-8139
18:00 ~ 25:00
日休

折尾



美鈴
八幡西区北鷹見町 13-10
オリオンプラザ内・
おりお小路 1F
☎ 093-601-3369
16:00 ~ 23:00
日休

門司



**飲み処
あんかー**
門司区栄町 9-25
☎ 093-321-6228
11:30 ~ 14:00 /
17:00 ~
日・祝休

小倉



サウナ小倉
小倉北区鍛冶町 1-6-17
鍛冶町第一ビル 3F
☎ 093-531-0208
24時間営業
無休
<http://sauna-kokura.com/>

折尾



二鶴寿し
八幡西区北鷹見町 13-10
オリオンプラザ内・
おりお小路 1F
☎ 0120-691071
11:00 ~ 14:00 (土日祭) /
16:00 ~ 23:00
(日・祭 ~ 21:00) 火休

門司



カクテルスナック 館
門司区栄町 5-23
有楽街内
☎ 093-321-8222
18:00 ~ 24:00
不定休

小倉



おもてなし 北川
小倉北区鍛冶町 1-6-8
南国ビル 2F
☎ 093-531-3766
17:00 ~ 23:00
(オーダーストップ)
日・祝休

黒崎



スナック アミー

八幡西区黒崎 2-8-23
ミカドビル 1F
☎ 093-645-0794
18:00 ~ 24:00
日・祝休

市の西の拠点、黒崎の銀天街の一角にある繁華街。ご主人の開いた店を引き継ぎ、切り盛りするママ、福島邦子さんのもとには、気心知れた常連が毎夜集う。スナックなのに扉はガラス。中がすっきり見えるので、「見さんでも安心して入ることが出来る。「喫茶店みたいでしょ。こっちからも入って来ようとするお客さんの顔が見えておもしろいのよ」とママ。常連のひとりが、「みな家に帰るように扉を開ける」と話してくれた。何杯飲んで歌っても、1人2,000円は見事な明朗会計。

戸畑



スナック 雨やどり

戸畑区小芝 2-9-11
☎ 093-882-9651
20:00 ~ 26:00
12/31、元日休

スナックといえは、いぶし銀の歌声が響く、焼酎の似合う酒場の感がある。が、JR九州工大前駅から徒歩圏内に位置し、真つ赤に灯る看板が目印のこの店は、学生たちのエネルギー発散の場所、若人の歌声が響くカラオケスナックだ。大学時代にここで遊び、社会人になってから再び飲みに行ってくるお客さんもある。人生の先輩と後輩が親交を深める、大切な盛り場でもあるのだ。ママは、店を親類から引き継ぎ25年。いつも着物物でお出迎え。チャージ(学生)2,200円、(社人)2,500円。



“2014年に生誕100周年を迎えます”
www.chigusa.co.jp

ご存じですか? わらべの日

わらべの日

このステッカーが
目印です。

「わらべの日」の目的: 子どもと積極的にふれあうために、子育て中の親、職場、地域など、市民全体が子育てに協力する日として、毎月第2日曜日を「わらべの日」と決めました。市民全体へ子育て支援の輪を広げ、市民運動として協力のネットワークを浸透させていきます。また、市民の意識改革により、子育て環境が改善されることを目的としています。



毎月第2日曜日の「わらべの日」に、中学生以下の子どもを連れた家族が、協力施設や協力店舗などを利用すると、料金割引などの各種サービスが受けられます。[協力施設・協力店舗募集中!!]

NPO法人 **子ども未来ネットワーク北九州** 〒802-0841 北九州市小倉南区北方2丁目15-21
TEL.093-932-7717 FAX.093-932-7718

北九州市は、多くの魅力にあふれています。この場所に会いに、出かけませんか?

スローライフ・スローフード毎日の生活を心から楽しめる
住宅型有料老人ホーム「ニュー ハートピア」

入居者募集

ご見学
ご説明会
随時好評
開催中!

ニューハートピアでは
冷凍食品・化学調味料
一切無し!
全て国産食材を使用。
手作りの美味しさをご提供いたします。

レストラン

ご利用料金について
10パターンのお部屋をご用意しています。入居一時金必要(返還制度有)

1人部屋
1ヶ月 135,000円~

2人部屋
1ヶ月 173,500円~

※まずはお気軽にお問い合わせ下さい。詳しくご案内させていただきます。

住宅型有料老人ホーム
ニューハートピア
〒806-0033 北九州市八幡西区岡田町10-10
お申し込み・お問い合わせ
Tel.093-645-0012 Fax.093-645-0017
HP <http://www.shokaien.com> E-mail yukoso@new-heartpia.com

◎貸会議室(宴会)受付中! ◎韓国語教室・中国語教室 好評受付中! 社会福祉法人 福祉松快園(総合福祉施設運営)

経済産業省「次世代エネルギー・社会システム実証」

北九州スマートコミュニティ創造事業

電力などのエネルギー分野を中心に、まちづくり、通信、交通システム、ライフスタイルにかかわる様々な実験をまちの中で行い、賢くエネルギーを使いこなす低炭素社会づくりにチャレンジします。

太陽光発電 小型風力発電 EV、pHV用充電器
緑化 レンタサイクルステーション

写真はイメージです。

北九州市応援団

北九州市のことが好きな方、応援して下さる方、「北九州市応援団」に入りませんか。

北九州市応援団とは!? (Q&A)

Q1 北九州市応援団って何!?
北九州市のことを応援したり、関心を持って下さる方々が集う場として発足しました。応援団では、北九州市を応援し、盛り上げる、会員相互の情報発信や交流を行います。

Q2 どんな人が会員になれるの?
「北九州市、好きっちゃね〜」「北九州市のこと、知りたいな〜」「北九州市、懐かしいな〜」などなど、北九州市を応援したり、関心を持って下さる方はどなたでもOKです。

Q3 何がもらえるの?何が出来るの?
会員証を発行します。
メールマガジン等で、北九州市の情報をお届けします。
ウェブサイトで、北九州市を応援するイベント情報などを発信できます。
交流会など、北九州市関連の行事をご案内します。

Q4 何をすればいいの?
北九州市のことを話題にしたり、自慢したり、多くの人によさを広めてください。あなたのちょっとした一言が、北九州市のイメージを大きく変えていきます。

参加申し込み
レッツシティ北九州ウェブサイト内 (<http://lets-city.jp/index.html>)
レッツシティ 検索 ▶ レッツシティ北九州ウェブサイト ▶ 左下の応援団イラストをクリック

●お問い合わせ/北九州市企画文化局シティプロモーション部 〒803-8501 北九州市小倉北区城内1-1 tel:093-582-3636 fax:093-582-2176

地域エネルギーマネジメントシステムの構築 (地域節電所)

市民や事業者が地区のエネルギー管理に積極的に参加する仕組み(地域節電所)を構築し、地域全体のエネルギーを効率的に利用。

天然ガスコジェネ 大規模蓄電池 風力発電 仮想導入
副生水素 送配電網 風力発電所 1.5万KW
スマートビル IT網 レンタサイクルステーション
次世代SS スマートコミュニティセンター スマートスクール
スマートマンション 太陽光発電 データセンター

新エネルギー等10%街区の整備

地区内の契約電力(21,000kW)の10%相当(2,000kW)分を、新エネルギー、地域エネルギーで供給。

- タウンメガソーラー
地区内に、1,000kWの太陽光発電を整備
- 北九州水素タウン
パイプラインにより工場で副生される水素を供給(燃料電池で利用)
- 小型風力発電
地域内商業施設や公共空間に消音型の小型風力発電を導入
- 直流電流実験住宅
太陽光等の直流電流を変換せずに利用する直流電流住宅を整備

街区まるごと省エネシステムの導入

地区内の様々な建物(住居、オフィス、店舗、工場など)に省エネ機器や、家電等を制御するシステムを導入。

次世代交通システムなどの地域社会づくり

次世代交通システムや高齢化社会に対応した人に優しい様々なシステムを導入。

- オンデマンドバス
IT基盤EVバスを活用したコミュニティバス導入
- 東田グリーングリッド
緑地整備や建物の屋上・壁面の緑化を実施



サンライフ萩ヶ丘公園



写真/現地エントランスホール

今から始まる新しい生活。

「行ってらっしゃい」エントランスを抜けて、爽やかな風と輝く朝日に包まれて始まる。「おかえりなさい」1日の終わりに癒しの空間があなたを待っています。

サンライフ萩ヶ丘公園 全12タイプをご覧頂けます。 | 完 | 成 | 見 | 学 | 会 | 開 | 催 | 中 | !! |

A TYPE 4LDK 合計面積/115.90㎡
 ●専有面積/89.19㎡(内バルコニー面積/1.44㎡)
 ●バルコニー面積/22.85㎡ ●ポーチ面積/3.40㎡
 ●MD面積/0.46㎡

C TYPE 3LDK 合計面積/89.75㎡
 ●専有面積/77.79㎡(内バルコニー面積/1.44㎡)
 ●バルコニー面積/9.72㎡ ●ポーチ面積/1.71㎡
 ●MD面積/0.53㎡

3つのバルコニーに囲まれた、明るく伸び伸びとした開放感が魅力な4LDKプラン。
 キッチンにはバルコニーに勝手口が付いて機能的。

入居が始まった「サンライフ萩ヶ丘公園」へようこそ!

「サンライフ萩ヶ丘公園」の近くにある萩ヶ丘公園は、野鳥のさえずりや四季折々の自然を身近に感じられる憩いの場として、多くの人々に愛されています。春にはキレイな桜が咲き乱れ、訪れる人々の目を楽しませてくれます。

駐車場100%完備 [全戸に平面駐車場]
 ひとつの家族に1台の駐車場があるから安心。とっても便利です。

洗車スペース設置 [コイン式高圧洗浄機/有料]
 敷地内の駐車場にコイン式(有料)高圧洗浄機(リース)設置。水しぶきをガードするフェンスも備え付けました。

朝刊宅配サービス [各戸の玄関ポストへ]
 玄関ドア横に設置された専用ポストに毎朝新聞が届く。とっても便利な朝刊宅配サービスです。

全戸トランクルーム付 [バルコニー収納スペース]
 お部屋の中心に置いておくには、ちょっとスペースをとってしまうのもラクラク収納。

ペットにも対応OK! [ペット表示付きエレベーター]
 ペットが乗るの戸建てではありません。サンライフ萩ヶ丘公園ではペットとの生活もOK!

豊かな緑が迎える潤いある暮らし。快適で利便性の良い住環境があります。

全タイプ南向き

平成22年9月より入居が始まっております。

現地販売センター

サンライフ萩ヶ丘公園

快適な生活のための、理想的な設備とサービス。

- 全戸リビングに「温水式床暖房」を標準装備。
- ビルトイン食器洗い乾燥機、オールスライドキャビネット
- キッチンを快適に演出。
- 魔法瓶浴槽標準装備で抜群の保温力。浴室暖房乾燥機付。
- 共用部分、駐車場、エレベーター前に防犯カメラ設置。
- 安心して便利なセキュリティを追求。

- 最大100Mbpsの【光ファイバー通信】対応。
- 衛星放送対応の【110CS-BS受信システム】
- 安心・安全の【シックハウス対策】
- オールフラットフロアの【UVアブリー設計】
- 共用廊下・バルコニーに【スリップシート】採用。
- バルコニーに【スロープシフト】を装備。
- 和室には天然素材の畳【雑やかくん】を採用。
- 新鮮な空気を供給する【24時間換気システム】。
- 【ネット仕様の機能】が付いたエレベーター。

新しい住宅ローン減税で、**38,356円**から。月々のお支払いも**頭金0円 Btype/3LDK/1,810万円** 償還金利1.25%

毎月ボーナス 併用払い方式の場合 毎月のみ ボーナス支払いなし
 月々(年12回) **38,356円** 月々(年12回) **52,996円**

ボーナス時(年2回) **88,045円** ボーナス時(年2回) **0円**

※返済例は西日本シティ銀行各支店におけるもので、借入申請時の申込人の年齢により返済年数が異なります。※100%融資については申込後、銀行の定める基準を満たす事が条件となります。※上記は35年変動金利(償還金利)1.25%で算出しています。※家中で年2回(毎月月末)のみのもので、金融情勢の変動により金利、借入条件等が変わることがあります。詳しくは係員にお尋ねください。

アクセス
 萩ヶ丘公園.....【徒歩 1分】 エフコープ.....【徒歩 3分】
 JR門司駅.....【徒歩 12分】 萩ヶ丘小学校.....【徒歩 5分】
 日の丸幼稚園.....【徒歩 1分】 戸ノ上中学校.....【徒歩 12分】

■建築概要:名称/サンライフ萩ヶ丘公園|所在地/北九州市門司区大里戸ノ上丁8番1号|2区画|西鉄萩ヶ丘公園入口(バス)徒歩約2分|市街地|第1種中高層住居専用地域|専有面積/70㎡|●全戸約200㎡●3層|●住宅|●私道負担/なし|●敷地面積/2,819.82㎡|●建築面積/796.12㎡|●延床面積/6,208.21㎡|●構造/規模/鉄筋コンクリート造地上14階地下1階|●建築確認/平成20年12月19日第K14-08-02738-1号|●戸数/67戸|●専有戸数/38戸|●間取り/3LDK・4LDK|●柱間面積/70.58㎡~92.90㎡|●バルコニー面積/8.60㎡~40.27㎡|●敷地所有者/松平建設|●販売価格/1,810万円~2,730万円|●2区画|●延床面積/2,000万円|●107㎡|●分譲後の権利関係/敷地共有、建区分区分|●売主/松平建設|●設計/監理/湘南野鉄建設設計事務所|●竣工/納入開始北九州支店 建築完成/平成22年8月末日|●管理費/5,720円~7,530円(月額)|●修繕積立金/3,460円~4,550円(月額)|●修繕積立基金/215,500円~283,800円(引当金)|●管理形態/個人|●入居者全員で管理組合組織成後、管理会社へ委託予定|●広告有効期間/平成22年10月末日|●駐車場/敷地内約台(限外賃貸:普通車65台/6,000円・普通車2台2区画/11,000円)|●耐震保証/西日本住宅産業信用保証|●設計/湘南野鉄|●基準/平準建設及び現地販売センター※価格には消費税が含まれていません。

泰平建設株式会社 株式会社 **TAIHEI**

【サンライフ萩ヶ丘】 現地販売センター **372-3777** AM10:00 PM6:00

サンライフ小倉販売センター (サンライフ小倉) **581-3623** AM10:00 PM6:00

0120-123-041 本社/北九州市小倉北区片野4丁目20-3 (泰平ビル) TEL.093-931-6626 FAX.093-931-6639

www.web-taihei.co.jp/ サンライフマンション 検索

北九州の新名物土産 **北九州食のブランド認定**

北九州料亭 観山荘本館 **北九州茶漬け膳** 各840円

小倉牛茶漬け 鯛茶漬け ふぐ茶漬け

霜降り部分の柔らかな肩ロース肉をしょうがや山椒の実を入れた特製のたれにさっとぐらせた風味豊かな新しいお茶漬けです。

玄界灘で獲れた鯛を新鮮なうちに刺身にし、ゴマ風味の特製しょうゆダレにけ込んだこだわりの逸品です。

本場、九州山口産で刺身用の鮮度の良いふぐのみを使用し、数の子、昆布、柚子胡椒で仕上げた贅沢なお茶漬けです。

その他、北九州のブランド牛・小倉牛を使用した小倉牛饅/北九州ごっしり饅等もあります。

■詳しくは **観山荘本館** 検索

井筒屋 北九州空港店で販売しています。 **全国宅配可**

営業時間/10:00~21:30
 0120-19-5877
 〒802-0064 北九州市小倉北区片野2-19-18 http://www.kanzanso.co.jp

鶴 御 **江戸前鮓**

小倉足立 **二鶴**

093・五三一・二四四二

CITY LINE 名門大洋フェリーで行く **2010.11/3(金)~12/24(金)出発**

エポカ・スタジオ・ジャパンの旅

2泊3日 毎日出発

現地までの快適な旅をお楽しみください!

スタジオリゾート(1日券)がついて!

おとな(中学生以上)お一人様 **14,800円**
 こども(小学生)お一人様 **10,000円**

「1等個室プラン」や「2等利用からのフェリー等級変更プラン」もあります。お気軽にお問い合わせ下さい。

行	行程	宿泊
1	JR小倉駅北口(無料送迎バス)→フェリーターミナル→新門司港発 18:40	新門司港 20:00 船中泊
2	→大飯南港着 08:20	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(大飯南港着) 20:00 船中泊
3	→新門司港着 08:20	JR小倉駅北口 09:10

お申し込み・お問い合わせは (旅行企画・実施) **CIT 株式会社 シティライントラベル**
 〒812-0024 福岡市博多区博多駅前1番1号(福岡第一生命館3階)
TEL.092-271-2511 ●営業時間/9:00~17:15 ●定休日/第2・4土曜日、日曜・祝日

大府南知事館 第2・1652号 全国旅行業協会会員 国内旅行業取扱管理者/倫理 眞七 (協賛) **株式会社 名門大洋フェリー**

燃費もおしゃれにダイエット! 22%の低燃費を実現

西部ガス主催 * ずっとキレイに もっと楽しく! * 「暮らしのダイエットフェスタ」で展示
 2010.10/8fri*9sat*10sun 10:00>>17:00 西日本総合展示場本館

人生には、ボルボより大切なものがある。自分を表現するためのデザインにこだわり、自分らしい生き方を楽しむ。だから、新しいボルボC30を選ぶ。

THE NEW VOLVO C30 230e Aktiv ¥2,990,000

ボルボ・カーズジャパン正規ディーラー **帝政オート株式会社**

ボルボ・カーズ 北九州
 〒806-0049 北九州市八幡西区穴生2-9-1
 TEL.093-641-0607
 http://www.volvocars-fukuoka.com

二つの流れーから・み

KARA・MI

山海塾
SANKAIJUKU



PHOTO:Sankai Juku

北九州から世界への発信 山海塾の新作「から・み」

北九州芸術劇場と山海塾の関係は、劇場開館の2003年にさかのぼります。

「創る、育つ、観る」をミッションとする北九州芸術劇場は、多様で良質な舞台作品提供の観点から、開館以来毎年、山海塾のレパートリー作品の上演を続けてきました。その流れで2005年以降、山海塾・パリ市立劇場と共に、新作の共同プロデュースを手掛けることになりました。「から・み」はその第3作目となります。今年4月にパリ市立劇場で世界初演の幕を開けた本作は、2011年1月に北九州で日本初演を迎え、その後東京に巡回します。

舞踏という日本の土壌から生まれた身体表現を、独自の的方法論によって洗練し、世界で高い評価を得ている山海塾。世界に出ることで得た文化の多様性に対する意識と、個々の差異を超えた人類の普遍性への視点が緩やかに融合したその作品は、パリと北九州から発信され、世界中で観る者の心を揺さぶり続けています。

舞台芸術の鑑賞空間としての質を極めた北九州芸術劇場にて、山海塾の深淵な作品世界をぜひご堪能下さい。

北九州芸術劇場館長・チーフプロデューサー 津村 卓

2011年 **1月22日(土) 18:00開演**
23日(日) 14:00開演
北九州芸術劇場 中劇場
 KITAKYUSHU PERFORMING ARTS CENTER

演出・振付・デザイン 天児牛大
 出演 天児牛大、蟬丸、岩下徹、竹内晶、市原昭仁、長谷川一郎、松岡大、浅井信好
 音楽 加古隆、YAS-KAZ、吉川洋一郎
 全席指定 一般4,500円、ユース(24歳以下*要身分証提示) 2,500円
 *当日各¥500増 *未就学のお子様はご入場できません

一般発売開始 ☆ 2010年11月21日(日)10:00より

チケット取扱 北九州芸術劇場プレイガイド・財団法人北九州芸術文化振興財団(土、日、祝は除く)・響ホール事務室・チケットぴあ・ローソンチケット(ほか)

■10名様以上のグループ観劇受付中(宣伝費別途TEL.093-562-2520) ■託児あり/有料(要予約フリーダイヤル0120-400-829 TEL.093-882-5063)
 北九州芸術劇場 〒803-0812 北九州小倉北区室町1丁目1番1号-11 リバーウォーク北九州内 TEL.093-562-2655

ステキな「Kokura cafe style」のご提案

KOCM

kokura open cafe month 2010

2010.10.1 Friday ▶10.31 Sunday

1,000円(税込)
※ドリンクサービス付き(参加店舗商品に限り)
オープンカフェ・フロア・外
参加店舗にて販売!!
限定500個

エコ特典付の小倉オープンカフェマンス
オリジナルタンブラー。
若松の人気雑貨店「Trifolium Repens」の
柴田みきさんのデザインです。

Kokura open cafe month event menu

週末限定の特設 Open cafe

街のあちこちに、カフェマンス期間中の週末・祝日「特設オープンカフェ」がオープン。魅力的なイベントとのコラボで、楽しさもプラス。

1st Stage	2nd Stage	3rd Stage	Final Stage
井筒屋前クロスロード 特設オープンカフェ	COLET/I'mの平和通例 特設オープンカフェ	紫川・勝山橋ひろば 特設オープンカフェ	紫川・勝山橋ひろば 特設オープンカフェ
Music×Cafe 【ミュージック・カフェ】	Sweets×Cafe 【スイーツ・カフェ】	Marche×Cafe 【雑貨マーケット・カフェ】	Halloween×Cafe 【ハロウィン・カフェ】
10/2(土)・3(日) 9(土)・10(日) 11(月・祝)	10/16(土)・17(日)	10/23(土)・24(日)	10/30(土)・31(日)
11:00~17:00	11:00~17:00	11:00~17:00	11:00~17:00

カフェ×スイーツ店のコラボで特設カフェをオープン、それぞれ1日だけしか食べられない限定スイーツも、16日は小倉南区の「ガーデンランド ドルチェ」17日は黒崎の「チャレンジャーズ96(クロ) cafe」の「GO!」と「Q.O.D.」。

雑貨店やフラワー、こどもの家具、ネイルフェスティバルなど、それぞれのお店と特設カフェの融合、ここでしか味わえないもの、あなただけの過ごし方を…女性に人気の「柴田みきさん」のお店「Trifolium Repens」も出店。

カフェマンス最終の週末は、家族連れの方でも楽しめるように、特設オープンカフェと昨年も大好評だったオゾン/flavorsの「パヴォ・マンス」[GRAN DA ZUR]による「ハロウィン」限定スイーツ、お子様にはお菓子のプレゼントも(限定数あり)。

“Gentel Menu”

小倉オープンカフェマンスの期間中(10月1日~31日)、小倉の人気カフェ&喫茶店がこの期間だけ頂ける限定メニューを考えてくれました。
 限定メニューを紹介したKokura Cafe Style Bookは参加店などで無料配布しています。

Kokura de Cafe Stamp

小倉の街をおさんぽしながら“CAFEはしご”素敵なプレゼントをGETしちゃおう。
 10月1日(金)から31日(日)の間に参加店ご利用のお客様にスタンプを1つずつ。スタンプ3個を集めてご応募いただいた方の中から抽選でプレゼントが当たります!是非ご参加を!

■■■ Kokura de cafe stamp で小倉のまちを巡ろう! ■■■

【主催】小倉オープンカフェプロジェクト 【協賛】 委いせしる、実行委員会内
 (協賛店) 小倉駅前カフェ7区、小倉中央商業連合会、北九州商工会議所、東川マイタウンの会、
 北九州まちづくり推進団(株)、北九州市
 (協力) 小倉市観光局、COLET/I'm (公認HP) <http://kokura-opencafe.jp/>
 (掲載サイト) <http://kokura-opencafe.jp/>
 (お問い合わせ) TEL.(093)541-0191 E-mail:webmaster@kokura-opencafe.jp

北九州市長杯 ストリートダンスバトル2010

Green Frontier 環境モデル都市 北九州

DANCE BATTLE

決勝大会いよいよ開催! Free Style & B-BOY 2on2

YUKINARI ex DAPUMP 玉城 幸也
 KEN ex DAPUMP 長本 健
 AI 川崎 愛 ex LIL AI

SPECIAL GUEST 10/17(日) 13:00- 琉-UNIT KEN & YUKINARI & AI

ex DAPUMP KEN & YUKINARI 登場!

会場 JR小倉駅南口 COLET/I'm 北側広場
 ※雨天時はJR小倉駅北口駅前広場

賞金総額 ¥300,000

一般の部 チャンピオン優勝賞金	100,000円	準優勝賞金 20,000円	フットボール部 チャンピオン優勝賞金	80,000円	準優勝賞金 20,000円	ジュニアの部 チャンピオン優勝賞金	60,000円	準優勝賞金 20,000円
--------------------	----------	---------------	-----------------------	---------	---------------	----------------------	---------	---------------

http://www.kita-q.jp

【お問い合わせ】〒802-0001福岡県北九州小倉北区浅野2-17-38コンダクトビル8F小倉ストリート実行委員会(セナールミュージックファクトリー)
 TEL.093-541-3188 FAX.093-541-3184 HPアドレス <http://www.kita-q.jp> E-mail entry@kita-q.jp
 ■主催/小倉ストリート実行委員会(構成団体…小倉中央商業連合会、北九州商工会議所、北九州都心開発株式会社、株式会社コロッセオ井筒屋、I'm、北九州市教育委員会、北九州市)

冠婚葬祭

サンレー

無縁社会から有縁社会へ
冠婚葬祭を通じて良い人間関係づくりの
お手伝いをさせていただきます。

この世には、いろいろな縁があります。親戚の縁である「血縁」、隣人と地域の縁である「地縁」、仕事仲間やOB会などの「職縁」、同窓生は「学縁」、趣味の仲間は「好縁」、そしてボランティア活動など志をともにする仲間は「道縁」です。私たちサンレーグループは人と人とを繋ぐさまざまな縁の大切さを第一に考え、冠婚葬祭を通じた儀礼文化の継承はもちろんのこと、「隣人祭り」をはじめとするあらゆる地域貢献活動で地域の皆様のお役に立ちたいと思っています。殺伐とした無縁社会から心通い合う有縁社会へ、それが私たちサンレーグループの願いです。

- HOTEL 松柏園ホテル
- BRIDAL マリエールオークパイン
- CEREMONY 紫雲閣

株式会社サンレー

北九州市小倉北区上富野3-2-8 TEL093-551-3030

サンレー 検索

青雲／白雲

＊特集「海よ、波よ、魚よ。」に描かれた皆さんの海の仕事へのこだわりが、60歳になった一応人生のひと区切りを生きた自分の人生に重なり、何かしら感ずるものがありました。単なるおいしい店の食べ歩き的な記事が溢れる中で新鮮だと思えます。(東京都品川区・60歳会社役員)

＊元気な魚と白波の勢いを誌面で感じることがない北九州でお腹がいっぱいになった気がなりました。いつか本場に訪問してみたいです。(大阪府堺市・66歳講師)

＊「鯖のじんだ煮」とても懐かしかったです。里帰りしたとき、亡き母が必ず鯖で作ってくれました。(千葉県君津市・62歳会社員)

＊海が好きです。今回の表紙にひと目ぼれし、友人が持っていたのにそれをもらってしまいました。隅々までおもしろく、何度も読み返しました。動物園の記事も読みたくないと思いません。(小倉南区・21歳学生)

＊主人の好物のことが表紙だったので興味本位で手にいたしました。主婦としてレシピは大変参考になります。今度ぜひ、たこ焼きめしを作りたいと思いました。(福岡市・36歳主婦)

＊初めて北九州へ来ました。漁業が盛んな街とは知りませんでした。海峡のたこを食べられなかったのですが、ぜひもう一度北九州を訪れたいです。(東京都江東区・27歳会社員)

＊東京、朝日ホールで行われた松本清張生誕100年記念講演会へ入手し、初めて拝読しました。戦中、戦後にかけて5年ほど佐賀にいたこともあり、北九州市にも何回か訪れたことがあります。雑誌を読んで再訪したくなりました。(神奈川県横浜市・77歳)

＊長年北九州に住んでいるのに、普段は気にもとめていませんでした。掲載させていただきます。おたよりをお待ちしております。綴じ込みはがきをご利用ください。掲載させていただきます方には、小さな記念品を差し上げます。(鳥取県米子市・61歳主婦)

＊海や魚の話題には飛びついてしまいます。文章も味わいがあり、漁師さんとは生き生きしてとてもカッコよいと思いました。(神奈川県三浦市・35歳会社員)

＊地元の人でなくてはわからないことや知識が載っていて、観光やお土産を買うためのよいガイドになりました。これからは北九州に遊びに来たいと思います。(埼玉県南埼玉郡・28歳会社員)

＊海で一生涯懸命に働く人々の話をじっくりと読ませてもらい、温かい気持ちになりました。勇気ももらい、私ものがらばろう！と思いました。(山口県下関市・34歳主婦)

＊掲載されている写真の質感が好きです。どこか懐かしく、愛おしい気持ちになりました。(山口県下関市・60歳主婦)

＊北九州高校の「魚部」の記事、大変おもしろかったです。生徒が生き生きと活動している姿はほほえましくもあり、たくましく感じました。(埼玉県川口市・54歳)

＊北九州市はそれぞれの区に特徴があつておもしろい。私は大分在住ながら、角打ち文化研究会に入っています。門司港や黒崎、戸畑の古い酒屋はずっと残してほしいですね。(大分市・41歳ドライバー)

＊インターネットが使用できないので、ホームページだけでなく、次号の予告方法があればと思います。(若松区・72歳農業)

＊地域のことを愛着を持って取材してあり、他県に住んでいながら親しみを感ぜさせてくれ、とてもユニークな情報誌だと思います。欲しくても在庫切れのものもあり残念です。増刷していただきたいです。(鳥取県米子市・61歳主婦)

＊おたよりをお待ちしております。綴じ込みはがきをご利用ください。掲載させていただきます方には、小さな記念品を差し上げます。

次号予告
ぐるり、ぶらぶら、
乗る、歩く。



北九州市民憲章

緑を豊かに
清潔で美しいまちにします

きまりを守り
安全なまちにします

人を大切に
ふれあいの輪をひろげます

元気で働き
文化のまちをつくりまします

学ぶ楽しさを深め
文化のまちをつくりまします

最新の発行情報は、北九州市にぎわいづくり懇話会ウェブサイト(<http://www.lets-city.jp/>)にてお知らせしていきます。

＊バックナンバー

『雲のうえ』1・2・3・4・5・9・10・11号
＊在庫切れ

『雲のうえ』6
特集：街の劇場。

『雲のうえ』7
特集：馬と艇と輪と。

『雲のうえ』8 ＊在庫僅少
特集：振り向けば、山。

『雲のうえ』12
特集：海よ、波よ、魚よ。



◎送付ご希望の方は、お名前、ご住所、連絡先の電話番号、ご希望の号を明記のうえ、冊数分の切手(1冊/180円分、2冊/210円分、3～4冊/290円分)を同封し、下記までお送りください。なお、送付は1号につきおひとりさま1冊とし、予定数に達しましたら終了させていただきますのでご了承ください。

☎803-8501 北九州市小倉北区内1番1号
北九州市企画文化局シティプロモーション部
『雲のうえ』送付係

発行
北九州市にぎわいづくり懇話会
☎803-18501
北九州市小倉北区内1番1号
☎93-8282
北九州市企画文化局
シティプロモーション部内

制作統括・印刷
株式会社ゼンリン
プリンテックス

協力
株式会社スターフライヤー
株式会社朝日広告社
北九州市のみなさま

「雲のうえ」編集委員会
牧野伊三夫 有山達也
つるやもも 大谷道子

＊アンケート

『雲のうえ』13号をお読みいただきありがとうございます。ご感想、ご要望を、綴じ込みはがき、または上記のQRコード(<https://lets-city.jp/kumonoue/qm/>)よりお寄せください。抽選で17名の方に以下のプレゼントをお贈りいたします。平成23年2月28日消印有効。当選の発表は発送をもって代えさせていただきます。
＊応募はおひとりさま1号につき1通に限らせていただきます。複数応募は無効となりますのでご注意ください。



A：北九州—東京羽田間ペア往復航空券目録
(株式会社スターフライヤー) ⇒1名様

B：STARFLYER×CONRAN ウォッチ
(株式会社スターフライヤー) ⇒2名様

C：ホテルペア宿泊券
(門司港ホテル・リーガロイヤルホテル小倉・ホテルクラウンパレス小倉・ホテルニュータガワ・北九州八幡ロイヤルホテル・ホテルクラウンパレス北九州・千草ホテル) ⇒各1名様
＊ご希望のホテル名をお書きください。

D：ペアフリーパス券
(株式会社スペースワールド) ⇒2名様

E：北九州市ふるさとかるた
(北九州市にぎわいづくり懇話会) ⇒5名様



©SPACE WORLD, INC.
©2010 SUSUMI MATSUSHITA ENTERPRISE



行橋駅まで
徒歩圏内 **全76区画** **700万円**台より

- 「原っぱ」の喜びを復活させたこの街の人々のための芝生公園(サニーパーク)
- 開放感にあふれ街の人々の交流を深めるオープン外構
- 降りそそぐ太陽光の恵みを存分に活かしたフラットな敷地
- 街並みに自然なリズムと変化をつくる曲線デザイン



行橋の駅前生活。
暮らしに便利な生活環境の街。

東九州道「行橋IC」開通予定
さらに便利になる交通アクセス。

JR「行橋」駅
徒歩10分(約800m)

■「サニーガーデン行橋ステーション」(土地概要)●所在地/行橋市大字草野殿小路460番外●交通/JR「行橋」駅徒歩10分●建ぺい率/60%●容積率/200%●用途地域/第一種中高層住居専用地域●地目/宅地●開発許可番号/20都第1-125号(平成20年12月22日)●開発総面積/24,003.43㎡●造成完了済/76区画●道路幅員/市道6m~9m、開発道路(開通予定)●私道良田/無し●水道/公共水道●排水/戸別合流浄化槽●電力/九州電力●緑化排水承諾金/1回のみ100,000円●調整池・公園維持管理費用/年間2,000円●地役権/一部有り●団地内規約/有り●事業主/売主/東宝ホーム株式会社

【建築条件付宅地】○第一分譲●今回販売区画数/9区画●販売価格/7,580,800円(1区画)~9,863,400円(1区画)●最多販売価格帯/700万円台(5区画)●敷地面積/200.56㎡(約60.66坪)(1区画)~235.24㎡(約71.16坪)(1区画)○第二分譲●今回販売区画数/10区画●販売価格/7,000,000円(1区画)~10,411,200円(1区画)●最多販売価格帯/700万円台(6区画)●敷地面積/201.71㎡(約61.01坪)(1区画)~239.04㎡(約72.30坪)(1区画)●広告有効期限/平成23年3月末日●販売は平成22年9月1日現在のもので、※先着順販売の為、売却済みの場合はご容赦ください。【建築条件付宅地について】建築条件付宅地分譲は、土地売買契約締結後3ヶ月以内に住宅の建築請負契約を締結していただくことを条件として販売いたします。この期間内に住宅を建築しないことが確定したとき、または住宅の建築請負契約が成立しなかった場合には、土地売買契約は白紙となり受領した金額は全額お返しいたします。

はじめまして外断熱エア・コントロールの東宝ホームです。
北九州市地場ハウスメーカー実績No.1 **CM放映中!!!**
※2009年度実績



住み心地のいい家

東宝ホーム 株式会社

【お問い合わせ先】 東宝ホーム行橋店 〒824-0061 行橋市大字草野殿小路446-68

TEL0930-26-7333

携帯サイト▶

福岡県知事(2)第14998号・福岡県知事許可(給-15)第98133号(社)福岡県宅地建物取引業協会
九州宅地建物公正取引協議会(社)全国宅地建物取引業保証協会会員

<http://www.tohome.jp>

東宝ホーム

検索

右記のQRコードから
アクセスしてください。

